audite

Portrait Maureen Forrester

aud 21.437

EAN: 4022143214379

4 022143 214379

Record Geijutsu (01.11.2016)

Jap[illegible]he Rezension siehe PDF!

RECORD GEIJUTSU

■喜多尾道冬（ドイツ文学）

オムニバス

Maureen Forrester

モーリン・フォレスター放送用スタジオ録音集1955-1963
〔マーラー，ワーグナー，ブラームス，シューマン，シューベルト，他の歌曲〕
モーリン・フォレスター(A)
ヘルタ・クルスト，ミヒャエル・ラオハイゼン，フェリックス・シュレーダー(p)
〈録音：1955年12月～1963年9月〉
[Audite㊧21437(3枚組)]

推

第二次大戦後、すぐれたアルト歌手がどっと輩出した。フェリアー、アンダーソンを筆頭に、レッセルマイダン、ヘフゲン、テッパーなど。なかでもフェリアーとアンダーソンはカリスマ的なオーラを放ち、ソプラノ以上の威力を誇った。異色なのはカナダ生まれのフォレスター。フェリアーやアンダーソンの陰に隠れていたけれども、センスのよさ、教養の深さ、レパートリーの広さは抜群、ワルターから最高の賛辞を得るだけでなく、新大陸生まれのなかでは、当時ヨーロッパで高い評価を受けたほとんど唯一の声楽家だった。彼女はミュンシュと共演したマーラーの《亡き児》と《若人》の名録音で名をなしているが、それ以前のモノーラル時代にフリッチャイの指揮で《リュッケルト歌曲集》全曲のおそらくは正規の世界初録音をはたしている。彼は《第9》の録音でも彼女をソリストに迎えているほどの惚れこみようだった。

ここに収められた彼女の録音はすべてRIASのスタジオで放送用に行なわれたもの。ピアノはF＝ディースカウの伴奏者として知られるヘルタ・クルスト、さらに今日でも最高の伴奏者のひとりとして知られるミヒャエル・ラオハイゼンが担当している。これもドイツ本国の声楽家以上に彼女がいかに高く評価されていたかを如実に物語っている。

シューベルトではありきたりな曲を避け、アルトの声に合うスケールの大きい包容力のある渋い曲を選び、ワーグナーの《ヴェーゼンドンク》は深々としていながら明晰さを失わずきりっとしていてこれは発見だ。マーラーの《リュッケルト》も気品とスケールがあって感動的。おどろくのはシューマンの《メアリ・スチュアート歌曲集》。フランス語版で歌っているが、フランス語版は聴きはじめの上、女王の威厳と品位がにじみ出て胸を打つ。彼女の演奏の魅力は声に技巧を凝らすよりは類まれな共感力で聴き手をテキストと曲に一体化させ、他人事ではなく我がことのように感情移入さ得るところにある。このような全身的な共感力で訴えてくる歌い手はほんとうにまれになってしまった。

»audite« Ludger Böckenhoff • Tel.: +49 (0)5231-870320 • Fax: +49 (0)5231-870321 • info@audite.de • www.audite.de